

## SLに乗って行田市の古代蓮・田んぼアート観賞へお出かけ！ 7/11(土)、12(日)「SL 日本遺産のまち行田号」 熊谷駅発→行田市駅行を1日2便特別運行

秩父鉄道株式会社（本社：埼玉県熊谷市、代表取締役社長：牧野 英伸）は、埼玉県行田市（市長：行田 邦子）と連携し、SLパレオエクスプレスに乗って行田市観光にお出かけする「SL 日本遺産のまち行田号」を2026年7月11日(土)、12日(日)に特別運行します。

昨年、SLパレオエクスプレスの運行区間を延伸して行田市駅発の特別運行を計4回実施し、大きな反響がありました。本年は行田市の観光資源「古代蓮の里」や「田んぼアート」へのお出かけに便利なダイヤを新たに設定し、熊谷駅から行田市駅へ1日2便運行します。

また、特別運行に合わせたツアーなども実施予定です。

詳細は、下記のとおりです。

### 【「SL 日本遺産のまち行田号」特別運行について】



SL 日本遺産のまち行田号 2025年運行時の様子

- (1) 運行日 2026年7月11日(土)、12日(日)
  - (2) 運行区間 秩父鉄道 熊谷～行田市駅 2便（全席指定席）
  - (3) 運行時刻 第1便 熊谷9:22発→行田市10:11着  
第2便 熊谷11:06発→行田市11:48着
- ※運行の都合上、武州荒木駅を経由して運行します。また、一部EL（電気機関車）牽引の区間があります。
- ※途中駅での下車はできません。

- (4) 車両編成 SL (C58363 号機) +12 系客車 4 両+EL1 両
- (5) イベント 特別ヘッドマーク、特別客車案内板 (サボ) 掲出
- (6) 料 金 大人 2,000 円、小児 1,650 円 (SL 指定席券、SL 乗車区間の乗車券含む)
- (7) その他 通常の SL パレオエクスプレスと乗車方法、購入方法などが異なります。  
 詳細は秩父鉄道ホームページなどで 2026 年 5 月下旬にご案内します。  
 ●秩父鉄道ホームページ <https://www.chichibu-railway.co.jp/>  
 ※当特別運行の SL 指定席券は、運行当日の駅および SL 予約システムなどでの販売はありません。  
 ※運転状況により運転区間・時刻が変更になる場合があります。  
 ※やむを得ず、急きょ客車の牽引機が全区間 SL から EL (電気機関車) に変更になる場合があります。

### 【「古代蓮の里」「田んぼアート」にアクセスできるツアーなどについて】

当特別運行で行田市駅へ到着後には、観光レンタサイクルで「古代蓮の里」や「田んぼアート」へのお出かけ、また日本遺産のまちをガイドとともに訪ねる「まちあるきツアー」などの企画で行田市内周遊をお楽しみいただけます。詳細は行田おもてなし観光局ホームページで 2026 年 5 月中旬にご案内します。

●行田おもてなし観光局ホームページ <https://www.gyoda-kankoukyoukai.jp/>

行田市駅から南東へおよそ 5km に位置する「古代蓮の里」は、公園内に 42 種類、約 12 万株の蓮が植えられ、6 月中旬～8 月上旬にかけて見頃を迎えます。公園内にそびえたつ「行田タワー」から見学できる「田んぼアート」は、水田をキャンバスに見立てて、色の異なる稲を使い巨大な絵や文字を表現しています。世界最大の規模を誇り、7 月中旬～10 月中旬にかけて見頃を迎え、毎年異なる絵柄のアートをお楽しみいただけます。



古代蓮の里 イメージ



田んぼアート イメージ

### 【埼玉県行田市について】

埼玉県北部に位置し、利根川と荒川に挟まれた水と緑に恵まれた歴史あるまちです。名産品としては足袋が広く知られており、最盛期には年間約 8,400 万足の足袋を生産していました。現在でも日本で一、二を争う足袋産地であり、「和装文化の足元を支え続ける足袋蔵のまち行田」のストーリーは、2017 年 4 月 28 日に埼玉県内初の“日本遺産”に認定されました。市内には多くの足袋蔵などの歴史的建築物が残っているほか、「行田花手水 week」期間中は、商店や民家の前などに花手水が飾られ、趣きある景観をお楽しみいただけます。

関東七名城のひとつ「忍城址」、9 基の大型古墳が群集する「埼玉古墳群」など、市内にはほかにも多くの観光資源があります。



埼玉古墳群  
イメージ



忍城址と花手水  
イメージ

## 【「第23回秩父鉄道写真コンテスト」行田市特別賞の新設について】

2026年6月1日(月)～7月31日(金)に応募作品を募集する「第23回秩父鉄道写真コンテスト」に、一般社団法人行田おもてなし観光局の特別協賛による「行田市特別賞」を新設します。「SL部門」「観光部門」「車両部門」3部門の応募作品の中から、行田市内で撮影された作品を対象に、各部門1～2点程度「行田市特別賞」を選定し、行田市にちなんだ商品を副賞として授与します。入賞作品の中から2027年のカレンダーを作成するほか、ポスターやパンフレット等にも活用します。当特別運行をはじめとする行田市内の作品のご応募をお待ちしています。詳細は、秩父鉄道写真コンテスト専用サイトにてご案内します。

●秩父鉄道写真コンテスト専用サイト <https://chichitetsu.info/photos/>



行田市内で撮影された第22回秩父鉄道写真コンテスト入賞作品 イメージ

### ◆「SL日本遺産のまち行田号」特別運行に関するお問合せ

秩父鉄道株式会社 鉄道事業本部 運輸部 運輸課 TEL048-523-3313 (平日 9:00～17:00)  
行田市 参事兼市民生活部交通政策課長 島田 TEL048-556-1111 (内線 259)

### ◆秩父鉄道写真コンテストに関するお問合せ

秩父鉄道株式会社 総務部 総務課 TEL048-523-3311 (平日 9:00～17:00)

### ◇この資料に関するお問合せ

秩父鉄道株式会社 総務部 総務課 小林・中澤 TEL048-523-3311 (平日 9:00～17:00)